

# 市民の皆さまにとって 常に身近な存在に

新城市長 下江洋行

令和4年の輝かしい新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年の市長選挙では、市民の皆さまをはじめ各方面からの格別なご支援を賜り、第2代新城市長に就任いたしました。

就任と時をほぼ同じくして、

道の駅「もつくる新城」には高速バスの乗り入れが開始され、東京・大阪へダイレクトにアクセスできるようになりました。また、新城駅には高齢者や身体が不自由な方にとって長年の懸案でありました「エレベーターと屋根付きこ線橋」が整備され、誰でもスムーズな移動が可能になりました。これらは、新城市の観光振興や地方創生に不可欠な施設であり、新たな人や物のつながりを拓げていく足がかりとなるものと考えています。

さて、新城市はこれまで市



民、民間、議会、行政が一つのチームとなって「市民自治」を築き上げてまいりましたが、今後この市民自治を時代のニーズに合ったかたちに進化、発展させながら、更に定着できるよう取り組んでまいります。

そして、市役所は「市民の皆さまにとって常に身近な存在である」ことを忘れることなく、地域の皆さまに寄り添い連携と協調のまちづくりを通して、「心のかような市政の実現」に向け、誠心誠意、最善を尽くしてまいります。

末筆ながら、コロナ禍でありますので、感染防止のための基本対策に引き続き心掛けていただき、本年が皆さまにとって健康で幸せに満ちた1年となりますことをご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。

# 期待される議会を目指して

新城市議会議長 長田共永

令和4年の新しい年を迎え、健やかに過ごしたとのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、市民の皆さまのご理解とご支援を賜り、議会活動に精励できましたことを議員一同心から厚く感謝いたします。

また、昨年10月には市議会議員選挙があり、皆さまからご支援をいただきまして、18人の議員での新城市議会の新たなスタートを迎えることができました。

さて、いまだに続く新型コロナウイルス感染症の影響により皆さまにおかれましては不安がまだまだ尽きないことと思えます。しかし市民の皆さまが支え合い、協力をし合うことよって現在のコロナ禍は、少しずつ収束に向かっていくものであると信じています。

本市議会においては、市民の思いを市政に反映していくという地方議会の原点を意識し、多様化する市民のニーズにきめ細

やかに応えていくことが肝要であると考えております。このコロナ禍においても二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆さまの負託に応えるとともに、更に市民の皆さまがより身近に感じ、期待される新城市議会となるよう取り組んで参ります。

最後になりますが、本年も市民の皆さまの変わらぬ議会へのご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、この1年が皆さまにとって、幸多く健やかな年でありますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

